

“WELL-BEING”を目指す発達支援  
EDS-NETWORK発足記念シンポジウム  
「エビデンスを活用した発達支援の未来」

ゲスト  
スピーカー

2021.12.05 SUN 09:30-15:30

[主催]EDS-NETWORK [共催]NPO法人ADDS

オンライン開催!!  
参加費無料!!  
(定員100名限定)

基調講演① 10:00-11:30  
異彩を放つ障害者アートの未来像



松田 文登 氏

株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長



山本 淳一 氏

慶應義塾大学 文学部 教授

基調講演② 12:00-13:00  
応用行動分析学に基づいた発達支援

★お子さまを取り巻くすべての方へ!★

現場、研究、行政、保護者さまさまざまな立場の方のお話を聞きながら、地域で発達支援ニーズのあるお子さんとご家族に、エビデンスを活かした支援をどう届けていくかを、真剣に、皆で考える機会になればと思っています。本シンポジウムは、お子さんを取り巻くすべての方が対象となります。ぜひ奮ってご参加ください!

パネルディスカッション



竹内 弓乃  
NPO法人ADDS共同代表



熊 仁美  
NPO法人ADDS共同代表

事例検討100本ノック!!

申込方法

以下QRコードより申し込みフォームへアクセス頂き必要事項をご入力下さい。申込が完了しますとZOOMのアクセスURLがメールで届きますので、当日定刻になりましたらアクセスをお願いいたします。



## [プログラム]

### ▶ 第一部

- ・ 09:30-10:00 [オープニングスピーチ] EDS-NETが目指す未来像  
(NPO法人ADDS：熊仁美)
- ・ 10:00 -11:30[基調講演1] 異彩を放つ障害者アートの未来像  
(株式会社ヘラルボニー：松田文登)

### ▶ 第二部

- ・ 12:00-13:00 [基調講演2] 応用行動分析学(Applied Behavior Analysis:ABA)に基づいた発達支援 (慶應義塾大学：山本淳一)
- ・ 13:00-14:00 事例検討100本ノック  
(NPO法人ADDS：竹内弓乃ほか)

### ▶ 第三部

- ・ 14:10-15:30 [パネルディスカッション]  
「エビデンスを活かした発達支援が当たり前になる未来に向けて」  
(NPO法人ADDS：熊仁美ほか)

## 団体情報

### ヘラルボニー

株式会社ヘラルボニーは、「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験ユニットです。企業・自治体・団体・個人の課題を洗い出し、仮説を立て、福祉を軸とした社会実験を共創します。

## ゲストプロフィール

### ■松田文登

代表取締役副社長。チーフ・オペレーティング・オフィサー。大手ゼネコン会社で被災地の再建に従事、その後、双子である代表の松田崇弥と共にヘラルボニー設立。自社事業の実行計画及び営業を統括するヘラルボニーのマネジメント担当。岩手在住。双子の兄。日本を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN 2019」受賞。

### ■山本淳一

#### <主な経歴>

慶應義塾大学大学院 社会学研究科 心理学専攻 博士課程単位取得退学（文学博士）。明星大学、筑波大学を経て現職。国内外の専門雑誌に120本以上の学術論文を執筆。公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士。

#### <研究紹介>

発達にリスクがある乳幼児、発達障害（自閉症スペクトラム症、限局性学習症、注意欠如・多動症など）のある乳幼児・児童への応用行動分析学を軸にした発達臨床研究を進めています。親子関係・友人関係などの社会機能、セラピストの熟達化の過程、カリキュラムデザイン、読み書き理解表現などの学習支援、就学移行支援、支援方法の活用・普及過程などの研究に発展させています。同時に表情認知、視線、運動解析など、定型発達との比較を含んだ発達基礎過程の分析も行っています。小児科学、工学など関連分野との連携も進めています。